

北京旧城の歴史的街区の形成とその変容

持続的環境整備手法の探究：その2



講師—成 浩源（文化財保存計画協会）

参加申込み+会場地図▶
会場定員15名（先着順）



北京は、1153年に金による燕京（現在の北京）遷都以来、850年以上にわたって中国の首都として歴史を刻んでいる。今日、旧城エリアにおいて、33箇所の歴史文化保護区と6箇所の歴史風貌協調区が指定されている。これらの歴史的街区では、歴史的建造物の保存や復原が行われる一方で、再開発によって四合院（伝統的住居）と胡同（路地空間）の取り壊しや住民の移転が行われるなど、その居住環境は大きく変容しつつある。2025年においても、北京旧城内の再開発は止まらない。今回のレクチャーでは、昨年8月の調査報告もあわせて、歴史的街区の形成、変容過程と現状を紹介したい。

2026/2/15回15:30-17:30 西山卯三記念すまい・まちづくり文庫（木津川市兜台6-6-4）

【参加無料・要申込】

主催—NPO法人西山卯三記念すまい・まちづくり文庫（問合せ：npo@n-bunko.org）